

## ニカラグア定期報告（2020年2月）

### 【要旨】

内政・外交面では、野党や市民団体からなる7つの組織が国民連合（Coalicion Nacional）の構成組織として団結する旨発表した。経済面では、労働省（Mitrab）は、2020年3月1日よりフリーゾーンを除く9つのセクターの最低賃金を2.63%引き上げる旨発表した。また、米国企業のNew Fortress Energy社が当国で天然ガスプラント建設を行う旨発表した。

### 【主な出来事】

#### 1 内政・外交

##### （1）税関に留め置かれていたラ・プレンサ紙の資材引き渡し

7日、ニカラグア政府は、ラ・プレンサ社のハイメ・チャモロ社主に対して、ニカラグア税関局（DGA）において75週間留めおいたラ・プレンサ紙社の新聞発行にかかる機材や資材の税関留め置きを止めて引き渡しを承認した。翌日8日、ラ・プレンサ紙の資材は無事にラ・プレンサ社に引き取られた。

##### （2）ベトナム共産党ハイレベル代表団のニカラグア来訪

9～11日、Truong Thimai ベトナム共産党中央動員委員長率いるベトナム共産党ハイレベル代表団はニカラグアを来訪した。

##### （3）オルテガ政権によるエネルギー関連国営企業の設立法案承認

11日、オルテガ大統領の緊急動議要請により、国会はエネルギー関連国営企業設立に関する4法案を承認した。同日より設立される国営企業4社は以下の通り。

#### ア ガス国営企業：

Empresa Nicaraguense del Gas (Enigas)

#### イ 炭化水素貯蓄流通国営企業：

Empresa Nicaraguense de plantales de almacenamiento y distribucion de hidrocarburos (Eniplanh)

#### ウ 炭化水素調査開発国営企業

Empresa nacional de exploracion y explotacion de hidrocarburos (ENIH)

#### エ 炭化水素輸入・輸送・商業国営企業

Empresa nicaraguense de importacion, transporte y comercializacion de hidrocarburos (Enicom)

(4) 9名の政治犯の解放

13日、9名の政治犯が解放された。

(5) 国民連合加盟組織の発表

25日、マナグア市内で、野党や市民団体ら7団体の代表らが集まり、国民連合の構成組織として団結する旨を宣言する合意文書にサインした。7つの構成組織は、民主復興党（PRD）、立憲自由党（PLC）、民主主義のための拡大戦線（FDN）、農民連合、YATAMA、市民同盟、UNABである。

(6) アビレス国軍司令官の第3期就任式

21日、フリオ・セサル・アビレス国軍司令官の第3期就任式が行われた。

(7) 欧州議会代表団に対する入国拒否

24日、欧州議会の議員8名で構成される外交団は、オルテガ大統領の指令によりニカラグア入国を拒否された。

(8) ニカラグア代表団の台湾訪問

24～27日、モンカダ外相らニカラグア代表団は台湾を訪問した。

(9) ジェンスケ大統領顧問の国連人権理事会の出席

26日、ジュネーブにて開催された国連人権理事会第43回定期会合にてニカラグア代表としてジェンスケ大統領顧問が出席した。

(10) 中米国軍会議との諜報部門高官会議の開催

3～7日、マナグア市内にて、中米国軍会議（CFAC：La Conferencia de Fuerzas Armadas de Centroamerica）の各国諜報部門高官による会議が開催された。

(11) 世論調査結果

政府系の世論調査会社M&R Consultores社が、2020年1月～2月に実施した世論調査結果を発表した。概要以下のとおり。

ア 世界における主要強国の立ち振る舞いについて  
非常に満足している、とても満足している：18.0%  
中立・どちらでもない：15.0%  
少し満足している、全く満足していない：67.0%

イ 世界はどのような道を進んでいると思うか

○平和に近づいている

そう思う：19.5%

どちらでもない：16.4%

そう思わない：64.1%

○貧者は富者と同じ機会を得ている

そう思う：16.4%

どちらでもない：15.4%

そう思わない：68.2%

○強国は弱国を尊重している

そう思う：16.1%

どちらでもない：16.6%

そう思わない：67.3%

○国際法は尊重されている

そう思う：17.2%

どちらでもない：16.1%

そう思わない：66.7%

○強国は他国に対して内政干渉をしていない

そう思う：17.2%

どちらでもない：16.0%

そう思わない：66.8%

○国際関係において尊重と団結の精神が普及している

そう思う：18.3%

どちらでもない：17.9%

そう思わない：63.8%

○強国は貧国の福祉に対して気を配っている

そう思う：17.1%

どちらでもない：17.0%

そう思わない：65.9%

○各国は、対話と協力に基づいて様々な対立を解決している

そう思う：20.0%

どちらでもない：16.5%

そう思わない：63.5%

○強国は、様々な対立を解決するために軍事力を用いていない

そう思う：18.9%

どちらでもない：15.1%

そう思わない：66.1%

ウ 世界を率いるリーダーたちについて

軍事力で物事を解決している：77.3%

平和的、融和的、丁寧な方法で物事を解決している：20.4%

どちらでもない・無回答：2.3%

エ 米国は、モンロー主義に従い他国に対する干渉を拒んでいる

そう思う：11.6%

そう思わない：88.6%

オ ラテンアメリカ全般、とりわけニカラグアは米国に従属した国である

そう思う：15.3%

そう思わない：84.7%

カ 米国はラテンアメリカにおいてどのような存在か

平和・民主主義・福祉を保証してくれる存在である：17.3%

平和・民主主義・福祉にとって脅威である：72.4%

どちらでもない・無回答：10.3%

キ 米国は、他国の代表を指名する権限を持つか

そう思う：7.7%

そう思わない：92.3%

ク 資源に恵まれたラテンアメリカで未だ貧困が続く理由は何か

人々の怠慢さ：26.6%

社会的公正の欠如：62.6%

ケ ルイス・アルマグロ OEA 事務総長について

再任すべき：16.5%

再任すべきでない：83.5%

コ Nica Act の是非

不支持：76.2%

支持：14.4%

サ 米国による制裁のニカラグアの民主主義における評価

弊害である：80.6%

有益である：17.0%

どちらでもない：2.4%

シ 米国による制裁の影響は、

ニカラグア国民全体に被害が生じている：91.9%

ニカラグア政府のみ被害が生じている：6.5%

ス 米国による制裁は、

当国に対する内政干渉の表れである：73.8%

当国の経済発展と民主主義の強化のためである：21.2%

セ 当国の野党の取り組みとして、

雇用と発展に貢献するよう投資を促進すべき：86.4%

政府を打倒するため他国の経済制裁を促進すべき：9.8%

どちらでもない・無回答：3.8%

ソ 当国の野党が費やすべきこと

平和的共存及び社会的安定：58.1%

ニカラグアの民主主義の回復：37.3%

どちらでもない・無回答：4.7%

タ ニカラグアの主要問題は何か

失業率：31.4%

政治問題：18.4%

生活費の高さ：14.1%

貧困：13.8%

犯罪：9.7%

その他：12.6%

チ ニカラグア人の中米各国の治安に対する評価（最高評価：100）

ニカラグア：75.1

コスタリカ：60.4

パナマ：59.5

グアテマラ：31.4

ホンジュラス：31.4

エルサルバドル：31.1

ベリーズ：30.6

ツ 麻薬犯罪グループやマラスなどの犯罪グループが他国で活動する際に、

ニカラグアは障壁（バリア）になっている：82.9%

単なる通り道である：17.1%

テ 2018年から続く衝突は、

ニカラグア人自身によって解決されるべきである：85.9%

他国とりわけ米国の介入によって解決されるべきである：14.1%

ト 国際機関や他国は、

ニカラグアからの要請がある場合のみ交渉を支援すべきだ：83.4%

ニカラグアの問題を解決するために、積極的に交渉に参加すべきだ：16.6%

ナ 主権国家としてニカラグアは、

他国や国際機関の統治下におかれるべきではない：89.6%

ニカラグアの発展のために他国の統治下におく必要がある：10.4%

ニ ニカラグア国内問題に他国は介入・干渉しているか

そう思う：20.6%

そう思わない：76.2%

どちらでもない：3.2%

ヌ ニカラグアが良くなるためには、

他国の介入を入れず、自らの判断で取り組むべきだ：92.9%

政府は他国とりわけ米国と同意のもとで取り組むべきだ：7.1%

ネ ニカラグアは他国の治安に対して脅威か  
他国の平和及び安全保障において脅威ではない：95.4%  
他国の安全を脅かす存在である：4.6%

## 2 経済

### (1) 最低賃金引き上げ

6日、労働省(Mitrab)は、2020年3月1日よりフリーゾーンを除く9つのセクターの最低賃金を2.63%引き上げる旨発表した。引き上げ後の業種別最低賃金額は以下の通り。

(通貨：コルドバ, 1米ドル=約33コルドバ)

- ア 農牧業:4,286.33
- イ 漁業:6,517.50
- ウ 鉱業, 採石業:7,698.07
- エ 製造業:5,763.44
- オ 中小手工芸業, 国営観光業:4,605.42
- カ 電力, 上下水, ガス, ホテル, 運輸, レストラン, 通信業:7,861.99
- キ 建設, 金融, 保険業:9,592.40
- ク NGO, 家事代行業:6,008.97
- ケ 公務員:5,345.25

### (2) 歳入局(DGI)による納税滞納者リストの作成・公表

4日、歳入局(DGI)は、税協定法(La Ley de Concertacion Tributaria)第146条16に基づき、未納税者のリストを今後作成し、公表することを発表した。昨年実施した税制改正法令に伴い、本年から所得税の支払い締め切りが3月31日から2月29日に変更している。

### (3) 米国(USAID)の2021年度国家予算における対ニカラグア援助

米国の対ニカラグア援助は、2021年度予算(2020年10月1日から2021年9月30日まで)では1000万米ドルが計上されている。昨年に比べ、対ニカラグア援助額は400万ドル増加している。

### (4) ムーディーズによるニカラグアの格付け引き下げ及び経済状況

14日、ムーディーズは、ニカラグアの経済状況を「ネガティブ」から「安定的」に引き上げたものの、今後の経済情勢の見通しが厳しい現状にあることから、ニカラグアの格付けを「B2」から「B3」に引き下げた。

(5) New Fortress Energy 社による当国での天然ガスプラント建設

当国配電会社 Disnorte Dissur 社は、米国企業 New Fortress Energy 社と天然ガスプラント建設及び 25 年における天然ガス買い取りに係わる契約を結んだ。New Fortress Energy 社が、来年より当国プエルト・サンディーノ市に天然ガスプラントを建設することで、今後 300MW（メガワット）のエネルギーが算出される。

(6) マネーロンダリングに係わる当国に対する評価

国際金融活動グループ（GAFI）はニカラグアをグレーリスト/重点的フォローアップ対象国に再指定した。2015年、資金洗浄に対する管理体制の改善を理由に、当国をグレーリスト/重点的フォローアップ対象国から除外していた。しかし、今次決定により再度当国は対象国に指定された。

(7) The Economist Intelligence Unit (EIU) による 2019～2024 年の当国の経済予測

The Economist Intelligence Unit (EIU)（英国定期発行物「エコノミスト」の調査部門）による 2019～2024 年の当国の経済成長率、インフレ率、失業率の各予測は以下の通り。

	経済成長率 (%)	インフレ率 (%)	失業率 (%)
2019 年	-5.1	5.5	9.1
2020 年	-1.5	4.4	9.0
2021 年	1.7	3.7	8.5
2022 年	1.3	4.3	8.2
2023 年	1.7	4.0	7.6
2024 年	1.6	3.6	7.4

(8) 韓国輸出入銀行（Eximbank）及び韓国対外経済開発協力基金（EDCF）の貸し付けにより新たに首都圏のバイパス建設計画

当国政府は、マナグア市内に新たにバイパス建設を行うため韓国輸出入銀行（Eximbank）及び韓国対外経済開発協力基金（EDCF）からローンを借り入れた。それをもとに 24 日、運輸インフラ省（MTI）はバイパス建設事業に係わる入札を開始した。計画されているバイパスは、マナグア市ネハパ～ティクンテペ間を結び、15.38km を有する予定である。

(9) スイスの対ニカラグア支援動向

スイス政府は、ニカラグアに対して「総合的かつ持続可能な開発」の促進のため、3つの重点分野（1 ガバナンス及び法の支配、2 気候変動対策や防災を含む経済開発、3 天然資源

の保護)を重点的に支援してきた。これまでのスイスの対ニカラグア援助は、2017年1220万米ドル、2018年430万米ドルである。今後の対ニカラグア方針として、人道支援や国際機関を通じた支援に絞って経済協力を行っていく予定である。

(10) 米州開発銀行 (BID) の対ニカラグア支援動向

米州開発銀行 (BID) は、2018年の社会動乱以降の2年間当国政府に対して借款を行っていない。しかし、プライベートセクターに対しては2018年2000万米ドル、2019年8200万米ドルと投資を行っている。

<主要経済指標>

	2018年	2019年	2019年/2020年		
			12月	1月	2月
インフレ率 (対前年同月)	3.9%	6.1%	6.1%	未発表	未発表
貿易収支 (百万ドル)	▲2,312.4	未発表	未発表	未発表	未発表
輸出 FOB (百万ドル)	2,516.9	未発表	未発表	未発表	未発表
輸入 FOB (百万ドル)	4,829.4	未発表	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額 (百万ドル)	1,501.2	未発表	未発表	未発表	未発表
外貨準備高 (百万ドル/期末)	2,261.1	2,397.4	2,397.4	未発表	未発表

(出典：ニカラグア中央銀行)

(了)